

# Numark

---

PARTY MIX  
LIVE

ユーザーガイド

## 安全にお使いいただくために

### この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

### 製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

## ユーザーガイド

### はじめに

#### 同梱品

Party Mix Live 本体

USB ケーブル

1/8" (3.5 mm) Stereo Aux ケーブル

電源アダプター

ソフトウェアダウンロードカード

ユーザーガイド/保証書(本書)

#### サポート

本製品に関する最新情報 (システム要件、互換性情報など) および製品登録は [numark.com](http://numark.com) をご参照ください。

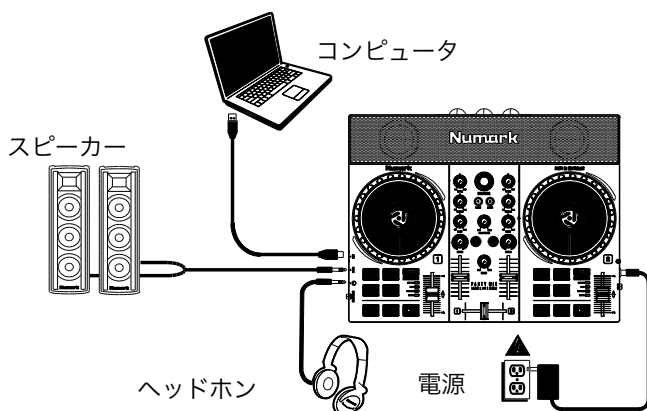
サポート情報は [numark.jp/support](http://numark.jp/support) をご参照ください。

#### 設定

Party Mix Live を使用するには :

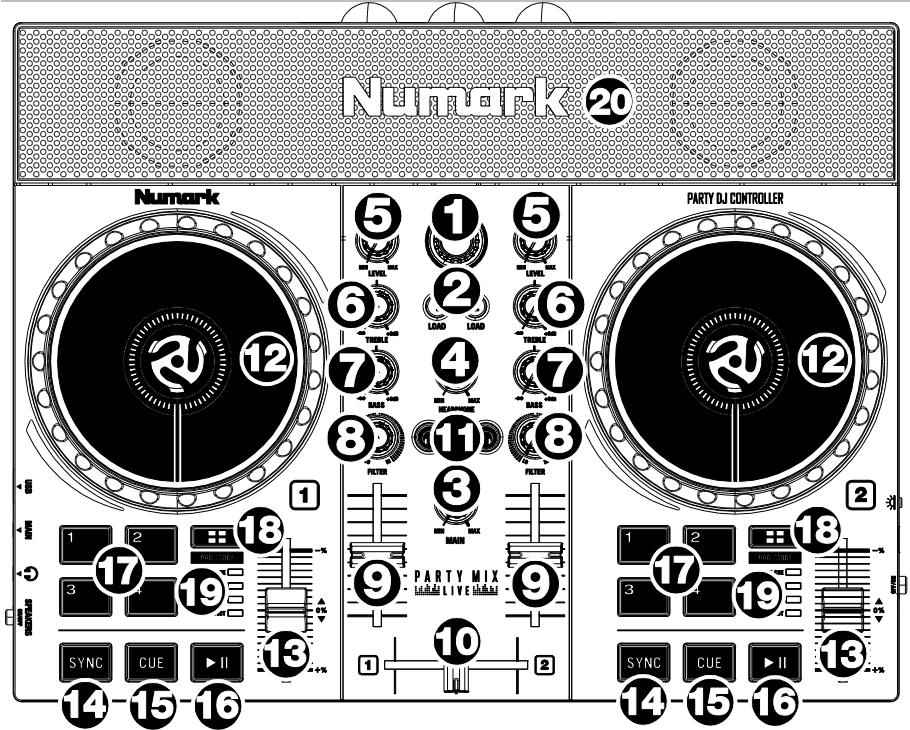
1. ソフトウェアダウンロードカードを使用し、Serato DJ Lite をダウンロードしお使いのコンピュータにインストールします。
2. Party Mix Live とコンピュータを付属の USB ケーブルで接続します。
3. ヘッドホンや、スピーカー (接続しなくても使用できます) などの外部機器を Party Mix Live に接続します。
4. Serato DJ Lite を起動して、DJ プレイを始めましょう!

#### 接続例



## 機能

## トップパネル

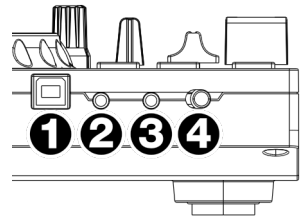


1. **BROWSE ノブ**：このノブを回してフォルダーやトラックをブラウズします。ノブを押すと、ソフトウェアパネルが一つ進みます。
2. **LOAD ボタン**：これらのボタンを押して選択しているトラックをデッキ 1 または 2 にアサインします。
3. **MAIN GAIN ノブ**：ソフトウェアと内蔵スピーカーのマスターボリュームを調整します。
4. **CUE GAIN ノブ**：ヘッドホン出力のボリュームを調整します。
5. **LEVEL**：各チャンネルの、チャンネルフェーダーと EQ に送られる前の信号レベルを調整します。
6. **HIGH EQ ノブ**：チャンネルの高音域のレベルを調整します。
7. **LOW EQ ノブ**：チャンネルの低音域のレベルを調整します。
8. **FILTER ノブ**：フィルターエフェクトのレベルを調整します。左右に回すとローパス/ハイパスフィルター効果が得られます。
9. **チャンネルフェーダー**：各チャンネルの音量を調整します。

10. **クロスフェーダー**：左右のデッキの音量バランスを調整します。
11. **PFL/CUE ボタン**：このボタンを押して、チャンネルフェーダーの前の信号をヘッドホンに送出します。ボタンが押されている場合、LED が点灯します。片方のボタンを押すと、そのチャンネルの音が聴こえますが、もう片方のそのチャンネルの音は聴こえなくなります。両方のチャンネルの音を同時に聴く場合は、両方のボタンを2つ同時に押します。
12. **プッシャー/ジョグホイール**：このホイールを動かして再生するオーディオをコントロールします。外側のホイールを操作すると、ピッチバンドコントロールをすることができます。
13. **ピッチフェーダー**：デッキの再生スピードを調整します。「+」方向へ動かせば再生スピードが上がり、「-」方向へ動かすことで再生スピードを遅くします。
14. **SYNC ボタン**：このボタンを押すことで、押した方のデッキを、もう片方のデッキのテンポと位相に自動的に合わせることができます。
15. **CUE ボタン**：デッキが停止している時に、**プッシャー/ジョグホイール**を動かして再生位置を任意のポイントに移動しこのボタンを押すと、一時的なキューポイントとしてその位置が登録されます。  
デッキでのオーディオ再生中にこのボタンを押すことで、瞬時にこの一時的なキューポイントに戻ることができます（一時的なキューポイントが設定されていない場合は、トラックの先頭に戻ります）。
16. **再生/停止ボタン**：このボタンを押して、デッキの再生・停止を行います。
17. **パフォーマンス・パッド**：これらのパッドで、ホットキュー、ループ、サンプラー、エフェクトなどのコントロールを行います。パッドの機能を切り替えるには、**PAD MODE** ボタンを押します。
18. **PAD MODE ボタン**：パフォーマンス・パッドのモードを切り替えます。切り替えることのできるモードは以下の通りです。
  - **Cue**：このモードでは、点灯していないパッドにホットキューポイントを割り当てることができます。デッキでのオーディオ再生中にホットキューポイントを割り当てたパッドを押すと、瞬時にホットキューポイントに戻ることができます。
  - **Loop**：パッドを押すと、再生中のトラックをループ再生します。ループのレンジ（長さ）は押すパッドにより異なります。
  - **Sampler**：パッドを押すと、Serato DJ ソフトウェアのサンプルをトリガーします。
  - **Effects**：パッド 1～3 を押すと、エフェクトをトリガーします。パッド 4 を任意の回数押すと、ビートと同期するエフェクトのタイムディビジョンを選択することができます（1/16 ～8 ビート）。
19. **PAD MODE インジケーター**：LED が点灯し、選択されているパフォーマンス・パッドのモードを示します。
20. **内蔵スピーカー**：リアパネル右側の内蔵スピーカーON/OFF スイッチでこのスピーカーの ON/OFF を切り替えます。ON にすると再生中のオーディオが出力されます。スピーカーの音量は、MASTER GAIN ノブで調整することができます。

## リアパネル右側

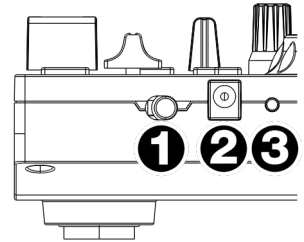
1. **USBポート**：オーディオ信号やデバイスの制御情報を接続したコンピュータに送受信します。
2. **メイン出力端子(3.5 mm)**：この出力とスピーカーやアンプを標準ケーブル(3.5 mm)で接続します。
3. **ヘッドホン出力端子**：この出力をステレオミニジャック・ヘッドホン (3.5 mm)と接続します。ヘッドホンでモニタリングする音量は **CUE GAIN ノブ**で調節できます。
4. **内蔵スピーカーON/OFF スイッチ**：このスイッチで Party Mix Live 内蔵スピーカーの ON/OFF を切り替えます。



## リアパネル左側

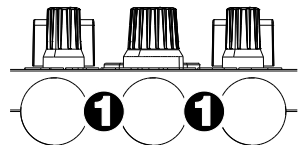
1. **電源スイッチ**：このスイッチで Party Mix Live 本体の ON/OFF を切り替えます。
2. **電源アダプター端子**：この端子に付属の電源アダプターを接続します。
3. **Party Ball モードボタン**：このボタンを任意の回数押すことで、Party Ball のイルミネーション・パターンを切り替えることができます。
  - i. Serato DJ Lite カラーコントロール (電源投入時のデフォルト設定)
 

**注意**：上記のモードでは、Serato DJ Lite の **Setup > Mixer** メニューから 3 つのイルミネーション・パターンの 1 つを選択することができます。
  - ii. Serato DJ Lite ビートコントロール
  - iii. 固定ランダムタイミング
  - iv. 全点灯
  - v. OFF



## リアパネル

1. **Party Ball**：ON にすると、Party Ball モードの設定にしたがってイルミネーションを行います。



## Party Mix Live と Serato DJ Lite を使ったミキシング

Party Mix LiveとSerato DJ Liteを使ったミキシングの一例：

1. まず、各チャンネルの **GAIN ノブ** と **EQ ノブ** を、すべて12 時方向にセットします。これらのノブは、トラックをデッキにロードしてから調整します。



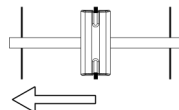
2. **BROWSE**ノブを回して、コンピュータ内の楽曲ライブラリをブラウズします。



3. **LOAD 1** および **LOAD 2** を押し、BPMの近いトラックをそれぞれのデッキにロードします。



4. **クロスフェーダー**を左側に切ると、デッキ1で再生するトラックのみがメイン出力から出力されます。



5. デッキ1の再生/停止ボタンを押し、再生を開始します。



6. デッキ2の**PFL/CUE**を押しします。



7. デッキ2のトラックを再生してヘッドホンでプレビューします。デッキ2の**SYNC**ボタンを押すと、トラックのBPMをデッキ1のトラックと合わせることができます。



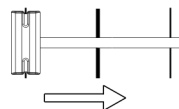
8. 再生中に任意のデッキの**CUE**ボタンを押すと、トラックの頭出し（曲のスタートポイントから再生する）をすることができます。



9. デッキ2のトラックを再生します。



10. **クロスフェーダー**を左から右にゆっくり動かし、デッキ1のトラックからデッキ2のトラックにミックスしながら切り替えます。



## 付録

### 技術仕様

出力	1/8" (3.5 mm) TRS Main output 1/8" (3.5 mm) TRS Headphone output
内蔵スピーカー	<b>Size</b> 2" (52.5 mm) driver x2 <b>Frequency</b> 150 Hz – 20 kHz <b>Response</b> 4 Ω <b>Nominal Impedance</b> 5 W (each) <b>Power</b>
電源	電源アダプター
サイズ (W x D x H)	325.5 x 256 x 66.4 mm
重量	1.22 kg

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

### 商標とライセンス

Numark は inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。  
 Serato および Serato DJ Lite は、Serato Audio Research の登録商標です。  
 その他の製品名や会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。



**numark.com**

---